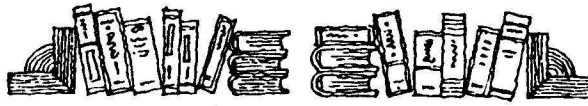


国語国文学会だより



No. 49

2013.10

日本文学科卒業生の会

国語国文学会 春の総会・研究発表会報告

平成二十五年度春の総会・研究発表会を五月二十三日（木）、八十年館八五一教室にて開催しました。

◆第一部 総会

(1) 国語国文学会会長挨拶

平館英子先生

(2) 奨学金授与

青木生子賞

株式会社ワーク・ライフバランス

代表取締役社長 小室淑恵氏（新49）

天理大学文学部准教授 渡辺麻美氏（新47・院37）

日本女子大学日本文学科賞（奨励賞）

院博士課程前期二年次 三浦 玲氏

学部四年次 平成二十四年度国語国文学会

季員三年生一同

日本女子大学日本文学科賞（優秀賞）

学部一年次 三上真由氏

中島武雄奨学金

院博士課程前期二年次 上田七海氏

上村悦子奨学金

院博士課程前期二年次 大原智美氏

茅野蕭々・雅子記念奨学金

院博士課程後期三年次 鴨川都美氏

佐山記念奨学金

学部四年次 渡邊かおり氏

(3) 受賞者挨拶

(4) 国語国文学会委員長挨拶・役員紹介

（学生の会・卒業生の会）

(5) 平成二十四年度活動・決算報告

(6) 平成二十五年度活動計画案・予算案・監査選出
(7) 自主ゼミ発足（学生の会・卒業生の会）、承認

◆第二部 活動報告と研究発表

▼自主ゼミ活動報告

漢文自主ゼミ（学生の会）

▼研究発表

森鷗外『魚玄機』論——才女に向けられた二つの

眼差し——院博士課程前期一年次 岡村あずさ氏

▼交換留学生紹介及び挨拶

ウエルズリー・カレッジ キャサリン・ロックウッド氏

オレゴン大学 イローラ・ロシター氏

オレゴン大学 チェルシー・エリオット氏

秋季大会・公開講演会のご案内

◇日時 平成二十五年十一月三十日（土）

午前の部 研究発表

午後の部 総会・講演

◇場所 未定

◇公開講演

（演題未定）ダ・ヴィンチ編集長 関口靖彦氏

「石川淳『処女懐胎』を読む——奇跡の政治性」

本学文学部教授 山口俊雄氏

◇懇親会

講演会終了後、ウイミンにて（予定）

会費三千円（学生千五百円）

平成二十四年度卒業生の会活動報告

(1) 総務

・ 回生委員会・常任委員会の招集

・ 春季総会・研究発表会の開催 五月二十四日(木)

(2) 企画

・ 自主ゼミの活動(皇女研究会)

・ 秋季大会の開催 十二月一日(土)

・ 研究発表大会・総会・講演会・懇親会

・ 文学散歩 中止

(3) 会計

・ 会費納入の確認

・ 収支・運営・備品の完備など

(4) 編集

・ 「国語国文学会だより」の発行

四十六号(秋の大会報告号 五月)

四十七号(春の大会報告号 九月)

・ はがき通信 五月(春の総会案内「たより」同封)

平成二十五年度卒業生の会活動計画

(1) 総会

・ 春季総会・研究発表会の開催 五月二十三日(木)

(2) 企画

・ 秋季大会の開催

・ 研究発表大会・総会・講演会・懇親会

・ 文学散歩の実施予定

(3) 会計

・ 会費納入への協力依頼

・ 活動充実のための備品の整備・購入

日本女子大学国語国文学会 ・ 卒業生の会 平成25年度予算 (平成25.5.23)	
【収入の部】 (単位:円)	
項 目	予 算
前年度繰越金	387,109
会 費	500,000
利 子	100
計	887,209
【支出の部】	
項 目	予 算
通信費	250,000
文具費	10,000
コピー代	20,000
会報印刷費	100,000
名簿作成費	200,000
委員会活動費	53,000
・ 委員会費	15,000
・ 交通費	2,800
・ 行事費	10,000
ゼミ費	10,000
秋季大会費	80,000
慶弔費	5,000
パソコン関係費	10,000
予備費	149,209
計	887,209

平成24年度決算 (平成25.5.23)			
【収入の部】 (単位:円)			
項 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増減 (b-a)
前年度繰越金	256,479	256,479	0
会 費	500,000	555,846	△55,846
寄 付	0	3,790	△3,790
利 子	50	106	△56
計	756,529	816,221	△59,692
【支出の部】			
通信費	200,000	206,640	6,640
文具費	40,000	0	△40,000
コピー代	20,000	15,042	△4,958
会報印刷費	100,000	98,700	△1,300
名簿作成費	143,000	0	△143,000
委員会活動費	47,000	36,171	△10,829
・ 委員会費	9,000	10,171	1,171
・ 交通費	28,000	26,000	△2,000
・ 行事費	10,000	0	△10,000
ゼミ費	20,000	0	△20,000
秋季大会費	80,000	72,559	△7,441
慶弔費	5,000	0	△5,000
パソコン関係費	50,000	0	△50,000
予備費	51,529	0	△51,529
計	756,529	429,112	△327,417
収入の計 816,221 支出の計 429,112 次年度繰越金 387,109 816,221 - 429,112 = 387,109			
上記の通り決算報告致します。			
会計 津田 英子 斎藤 雅代 監査の結果、上記決算報告が正確であることを認めます。			
監査 斎藤 令子 浜田美枝子			

(4) 編集

・「国語国文学会だより」の発行

秋の大会報告号 四十八号 (五月)
春の大会報告号 四十九号 (九月)

平成二十五年常任委員

総務 立川和子 (新1) 関根緑 (44)

岩切匡子 (新4)

企画 永井幸子 (新1) 大平妙子 (新24)

鹿又恵美子 (新32)

会計 津田英子 (新6) 斉藤雅代 (新19)

編集 遠間倫世 (新54)

会計監査 斉藤令子 (新6) 濱田美恵子 (新21)

○『国文目白』第五十二号ができました。ご希望の方は葉書で左記までお申し込みください。

〒一・二・八六八一 文京区目白台二・八・一

日本女子大学日本文学科研究室『国文目白』係

代金は、冊子到着後に払い込んでください。

(送料別 千円)

『国文目白』第五十二号源五郎教授退任記念号

・源五郎教授略歴ならびに著述目録

・井上ひさしの『雨』と井原西鶴の『俳の似せ男』

と「二人妻／夫」説話の系譜をたどって

みなもとごろう

・石川淳「マルスの歌」再論―冬子・帯子姉妹の共通性と対照性

山口俊雄

・文案における連声

坂木清恵

・「家庭小説」ジャンルの生成―菊池幽芳「乳姉妹」とその周辺―

花崎育代

・野口米次郎の能の紹介と、ゴードン・クレイグの雑誌「マスク」

鬼頭七美

・森鷗外「女がた」のセクシュアリティ

五十嵐礼子

・「変態心理」と「ドグラ・マグラ」―正木教授の人物設定に基づく一考察―

掘まどか

・「大」の成立をめぐる一考察―

鈴木美穂

・芥川龍之介「おぎん」論―おぎんたちの「棄教」

・大江健三郎「個人的な体験」論―「赤んぼう」と「救済」

・「大」の成立をめぐる一考察―

小林 梓

・「大」の成立をめぐる一考察―

木内英実

・「大」の成立をめぐる一考察―

・喪のために―円地文字「冬の旅―死者との対話」試論

・震災と夢野久作

溝部優実子

・野溝七生子の作品世界―灰色の扉―

伊藤里和

・「doppelgängerin」を中心に― 橋本のぞみ

・私達の生活と結びつけて古典と向き合い生徒達に表現することの素晴らしさを伝える授業の工夫

・二つの分断と越境―一九三〇年代の吉屋信子評からゼロ時代のエンタメ状況へ―

・私学の農業高校で唯一の国語科教師として私が大切にしてきたこと―

・村山知義「志村夏江」の成立―「新しい形式の創造」の可能性

・「落窪物語」論―少将道頼の人物造型を通して―

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・『呂氏春秋』にみる時令思想の意義とは―その発展と凋落を追って―

・岡本かの子「老妓抄」―芸者が舞台を降りるとき―

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

・堀達雄「風立ちぬ、いざ生きめやも」―『風立ちぬ』から『万葉集』へ、

・「書評・紹介」〔彙報〕

研究室だより

○今年度後期、谷中信一先生（中国思想史）が半年間のサバティカルに出られました。

○昨年度、研修に出られていた高野晴代先生（中古文学）が帰任されました。

○他の先生方は昨年と変わりありません。

○今年度の先生方です。

平館英子先生（上代文学）

高野晴代先生（中古文学）

石井倫子先生（中世文学）

福田安典先生（近世文学）

倉田宏子先生（近代文学）

山口俊雄先生（近代文学）

清水康行先生（日本語学）

坂本清恵先生（日本語学）

谷中信一先生（中国思想史）

大谷康晴先生（図書館学）

江田すみれ先生（日本語教育学）

田辺和子先生（留学生教育）

○研究室には、昨年度と同じく助教の鈴木美穂さん、助手の白石美鈴さんが常勤で詰めています。

○非常勤助手は、ご退職された遠峯瑞希さんの後任に、今年度より岩澤絢美さん、昨年度と同じく岩田芳子さんをお願いしています。

○田中功先生を偲ぶ会が、六月二十九日（土）に新泉山館で催されました。二月二五日隣頭部癌で逝去された田中先生のご業績やお人柄を偲んで学内外から図書館学関係の方や卒業生の方が沢山ご参加くださり、ご研究の深さや温かいお人柄にまつわるさま

ざまな思い出を語ってくださいました。

○熊坂敦子先生を偲ぶ会が七月二一日（日）に新泉山館で催されました。四月二日に逝去された熊坂先生のご業績やお人柄を偲んで、学内外から近代文学関係の方や卒業生の方が沢山ご参加くださり、凛としてしかもお優しい先生の思い出を語り、ご在職期間の卒業写真のビデオに当時の面影を探し合いました。

○国語科教員の会が八月三日（土）の午後、国語科教員の卒業生をお招きして開かれ、教員志望の学生達も沢山参加しました。教育活動報告として、相模女子大学中部・高等部教諭大川智子氏が「教員を目指す皆さんへー数年後、若手の先生になったらー」と題して若手教員になったときの心構えをお話しくださいました。また、千葉県立市原八幡高校教諭床枝ひろみ氏は「教職という仕事の実際」と題して、これまで培われてきたご自身の具体的に豊かな教材研究の経験を基に教育活動の実際をお話しくださしました。その後、卒業生の皆様全員からも厳しくも温かいメッセージをいただき、これから教員を志す学生達にとつても充実した貴重な時間となりました。日本文学科では国語科教員採用情報ネットワークで、教員採用情報や日本文学科の行事などをお知らせしています。教員免許をお持ちでご関心のある方は、国語科教員採用情報ネットワークnichibuninfo@fc.jwu.ac.jp にご登録ください。

○大学院談話会が十月十日（木）午後二時～三時半に、百年館低層棟五階五〇三教室で開かれる予定です。今年度は東京大学名誉教授久保田淳先生をお招

きして、「歌を読む」と題してご講演いただきます。

国語国文学会卒業生の会よりのお願い

いつも会のためにご協力頂きましてありがとうございます。当会は発足時より「総務」「企画」「編集」「会計」の四部門を以て運営してまいりました。しかし年々委員の方々の高齢化、お仕事上の変化、一身上のご都合も生じ、働いて頂ける方が減りまして、大変苦しい運営を迫られております。仕事は、

・国語国文学会の「春」「秋」の大会運営のお手伝い
・年二回発行の「春」「秋」の「たより」発行
年数回集まっております。

このような現状ですので、是非一緒に運営にご参加ください。新しく空気が入って元気な会になればしたらうれしいことです。ご連絡心よりお待ち申し上げております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

【連絡先】卒業生の会（企画） 永井幸子
電話・FAX 〇三―五九七〇―二〇四一

二〇一三年十月十五日

発行・日本女子大学日本文学科
国語国文学会卒業生の会
〒二二八六八一 東京都文京区目白二二八・一
日本女子大学 日本文学科内